

施工段階		着工時		1	設備工事： 主要機器搬入揚重計画	シート番号 1-4			
電気	空調	衛生	その他						
○	○	○	—						

ポイント

■搬入機器の寸法と重量の確認

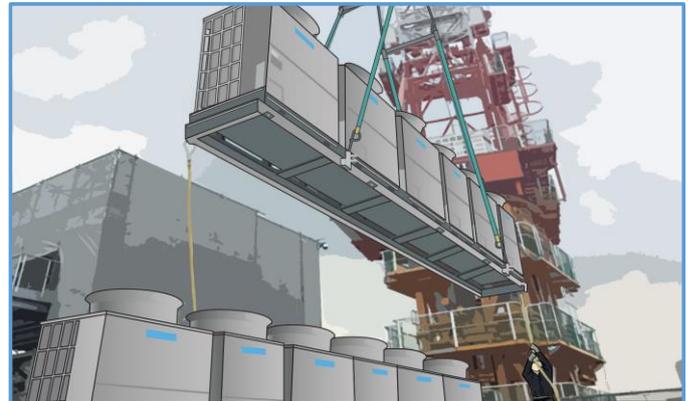
- ・機器寸法および重量を機器製作図等から確認し、使用する揚重機の選定や必要に応じて床耐力の補強等を検討します。

■搬入開口の確認

- ・特に地下階において、搬入用仮設開口を設ける場合は、塞ぎの前に機器を搬入する必要があります。

■搬入経路の確認

- ・通路やマシンハッチ、仮設用昇降機の寸法を確認し、搬入に支障が無いことを事前に確認しておく必要があります。



室外機ユニットの搬入



ライザー配管工法

先輩アドバイス

- ・設備機器類の搬入は、建物の進捗だけでなく、その後の試運転調整期間を十分に確保できる時期に実施することが重要です。特に先行搬入が必要な場合は機器発注・承認時期の調整も必要です。
- ・屋上の室外機ユニット化や鉄骨建て方時のライザー配管工法等の採用は、揚重回数を低減すだけでなく、省力化、安全化が図れる工法です。

チェック項目

- 試運転調整期間を十分に確保できる時期に搬入が計画されていますか。
- 機器重量に対して揚重機的能力は十分ですか。
- 搬入経路は機器寸法以上の幅と高さがありますか。
- 揚重計画は他工事とは調整済ですか。

失敗すると…

- ・機器搬入が遅れると、試運転調整期間が十分に確保できないためにシステムや品質の確認が不十分になり不具合が生じる恐れがあります。

共通管理項目	合理化 省力化	施工性 向上	品質・性能 向上	工期 短縮・圧縮	コスト削減 (材料)	コスト削減 (労務)	設備 先行工事	工事区分 見直し	責任所在 明確化
		○	—	—	○	—	○	○	—
備考	参 考 文 献 :						制定	2019年3月1日	
	参 考 メ ー カ ー :						改訂	2023年3月1日	